

名称	説明
さ 酸性雨	大気中に排出された硫黄酸化物 (SOx) や窒素酸化物 (NOx) などが、空気中の水分あるいは雨に作用し、酸性化したもので、通常pHが5.6より低い場合をいう。欧米では森林被害や建物の崩壊被害が発生している。
シアン (CN)	青酸カリで知られる有害な物質で、シアンが作用すると組織内窒息を起こして死亡する。肺、皮膚からも吸収される。致死量は人間一人あたり150mg ~ 200mgである。
COD (化学的酸素要求量)	CODは、海や河川の有機物による汚れの度合いを示す指標である。水中の有機物を酸化剤で酸化するとき消費される酸化剤量を酸素量で表したものであり、数値が高いほど水中の有機物質が多いことを示している。
持続的発展	健全で恵み豊かな環境を良好な状態で維持しつつ、将来にわたって経済の発展はもとより、社会がよりよい方向に発展すること。
臭気強度	臭気のレベルを示す方法で、6段階が設定されている。この評価方法は人間の嗅覚で行うため、個人差が入りやすい。
循環型社会	自然の物質循環を損なうことなく、日常生活や産業活動において消費される資源やエネルギーが少なく、扶養物として環境に排出される量も少ない、資源の効率的な利用がなされている社会のこと。
水源涵養機能	森林や自然の土、湿原や水田などの農地が、雨水を地面に浸透させたり、急激に川などに流れ込まないように貯留したりして、降雨を地表及び地中に一時貯えるとともに、地下に浸透させ、降雨の際に河川などへの流出を調整し、下流における水資源の保全や洪水の防止、地下水の涵養などを維持・増進する自然のはたらきを総称している。
水準点	土地の標高を表す基準点で高さの規準として使用される他、地盤変動、地盤沈下調査等の基礎データとして使用される。
生活環境項目	公共用水域の水質の環境基準のうち、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準でpH、BOD等 9項目が定められている。
生活騒音	一般家庭の日常生活に伴って発生する騒音。ピアノやクーラー、ペットの鳴き声、自動車のアイドリング等がある。
生活排水	一般家庭からの排水をいう。そのうち水洗便所からの排水を除いた排水を生活雑排水という。下水道未整備地区では、し尿はし尿処理場又は浄化槽により処理されているが、生活雑排水は処理されずに公共用水域に排出されることが多いため、水質汚濁の原因となっている。
生物多様性	地球上の生物の多様さとその生息環境の多様さをいう。生態系は多様な生物が生息するほど健全であり安定している。
騒音レベル	音圧レベルを人間の耳の特性に合うように補正した値で単位としてdBを用いる。
総水銀	検体に含まれている水銀及び水銀化合物の両者を合わせたもの。
SOHO	Small Office home officeの略。在宅勤務型職業形態。パソコン等を活用し、自宅などで新ビジネスを行う職業形態のこと。

名称	説明
た ダイオキシン類	<p>ポリ塩化ジベンゾ パラ ジオキシン (PCDD) 、ポリ塩化ベンゾフラン (PCDF) 及びコプラナ-ポリ塩化ビフェニル (コプラナ-PCB) をまとめてダイオキシン類と総称する。ダイオキシンは人工物質としては最も強い毒性を持つ物質といえるもので、無色の固体で、ほとんど水には溶けないが、脂肪などには溶けやすいという性質を持っている。</p> <p>また、ダイオキシンは他の化学物質や酸、アルカリとは容易に反応しない安定した性質を持っているが、太陽からの紫外線で徐々に分解されることがわかっている。</p>
大腸菌群数	<p>人間及び動物の腸管、特に大腸内に多数存在する細菌で、本来非病原性であるが、大腸菌の存在はし尿の流入等を示すものであり、これが多ければ赤痢菌、疫痢菌、チフス菌など病原菌が存在する可能性があるため、水質汚濁の指標とされている。</p>
炭化水素 (HC)	<p>炭素及び水素から成り立っている化合物の総称で、鎖式炭化水素、芳香族炭化水素等、多くの炭化水素がある。完全に酸化すれば水と二酸化炭素になる。</p>
地球温暖化	<p>化石燃料の大量使用や森林の減少により、温室効果ガスが大気中に大量に放出されることにより、地球規模での気温上昇を招くこと。</p>
地球サミット	<p>ブラジルのリオデジャネイロを中心に1992年6月に開催された「環境と開発に関する国連会議」(UNCED) のこと。</p> <p>地球憲章 (リオ宣言) 、気候変動枠組み条約、生物学的多様性保全条約、森林に関する原則声明、アジェンダ21 (具体的行動計画) 等が採択された。</p>
窒素 (N)	<p>肥料の三要素の一つで、リンとともに湖沼などの閉鎖性水域の富栄養化の原因物質である。水中にはアンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、有機態窒素等いろいろな形態で存在している。</p>
窒素酸化物 (NOx)	<p>窒素酸化物は、物の燃焼によってできる一酸化窒素 (NO) や大気中でNOが酸化してできる二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) のほか、硝酸ミスト (HNO<sub>3</sub>) など各種あるが、光化学スモッグ発生の主因物質と考えられているのは炭化水素とともにNO、NO<sub>2</sub>である。</p> <p>NOは、刺激性はないが、血圧中のヘモグロビンと結合して酸素の補給を阻害し、中枢神経系の症状を起こす。NO<sub>2</sub>はそのほか粘膜刺激性をもち、呼吸気道及び肺に障害を与える。主な発生源は自動車、ボイラーなど広範囲にわたっている。</p>
中央値・上端値・ 下端値	<p>全測定値を小さい値から並べたとき、全個数の50%目の値を中央値 (L50) といい、変動が大幅かつ激しい騒音や振動の評価方法である。全個数の5%から95%までの値を90%レンジといい、前者を下端値 (L95) 、後者を上端値 (L5) という。騒音規制は、上端値 (L5) を使用する。また、全個数の90%目の値を80%レンジの上端値 (L10) といい、振動規制にはこの値を使用する。</p>
DO (溶存酸素量)	<p>水に溶けている酸素の量をいう。水中に有機物が増えてくると、バクテリアが有機物を分解する際に酸素を多量に消費することから、数値 (mg/l) が小さいほど水質汚濁が進行していることを示す。</p>
低公害車	<p>ガソリン車・ディーゼル車に比べ、公害の発生の少ない自動車。排気ガスと騒音のない電気自動車や、エタノール車、天然ガス車等がある。</p>
低周波空気振動	<p>可聴域以下の周波数 (0.1Hz ~ 20Hz) の音波をいう。</p> <p>発生原因としては、工場機械、高速道路高架橋、新幹線トンネルなどがあるが、身体的影響等については未知な部分が多い。</p>
テトラクロロエチレン	<p>有機塩素系溶剤の一種。ドライクリーニングの洗浄剤、金属の脱脂洗浄剤として使用されている。水質汚濁防止法の有害物質に指定されている。</p>

名 称		説 明
た	典型 7公害	環境基本法で規定されている公害で、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下および悪臭をいう。
	等価騒音レベル	騒音レベルが時間とともに変動するような場合に、その騒音を評価する方法の一つで、「変動する騒音」とエネルギー的に等しい「変動しない騒音」のレベルを示す。Leqで表している。
	トリクロロエチレン (トリクレン)	有機塩素系溶剤の一種。特に金属機械部品などの脱油脂洗浄剤、ドライクリーニング洗浄剤として使用されている。発がん性があり、水質汚濁防止法の有害物質に指定されている。